

Gordon Research Seminar / Gordon Research Conference:  
Multiferroic and Magnetoelectric Materials  
参加報告

相関基礎科学系 博士課程 1 年 田中 克大 (堀田研究室)

「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成（平成 30 年度第 1 回）」をいただき、2018 年 8 月 4 日–8 月 5 日にアメリカ合衆国メイン州 Bates College で開催された Gordon Research Seminar (GRS): Multiferroic and Magnetoelectric Materials および、2018 年 8 月 5 日–8 月 10 日に同所で開催された Gordon Research Conference (GRC): Multiferroic and Magnetoelectric Materials に参加いたしました。GRC は物理学・化学・生物学など自然科学の諸分野の国際会議を多く開催しています。その中でもマルチフェロイック物質や電気磁気効果に関するものである Multiferroic and Magnetoelectric Materials は 2014 年から 2 年ごとに開催されており、今回で 3 回目となるそうです。また、GRS は GRC よりも若手の研究者を主な対象としています。Multiferroic and Magnetoelectric Materials の GRS は今回が初めての開催とのことです。

私は、“Intrinsic electronic ferroelectricity derived from the SU(4) symmetric two-orbital Hubbard model on a triangle” という題で、GRS にて口頭発表を、GRC にてポスター発表を行いました。口頭発表は緊張もあって幾分拙いものとなってしまい、特に質疑応答では苦勞しました。ただ、発表内容自体は様々な方に興味を持ってもらえたようで、ポスター発表でも質問やコメントを貰い、非常に良い刺激となりました。

最後になりましたが、今回の国際研究集会への参加にあたり、渡航助成をいただきましたことに感謝申し上げます。大変有意義な経験をすることができました。

